

令和6年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月24日(土)③

担当部局・担当課名:厚生部薬事指導課

事業名	富山県献血推進事業	評価結果	一部改善/現行どおり・拡充
-----	-----------	------	---------------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・献血ができるのは高校生になってからであるが、小中学生の段階から献血の重要性を啓発してはどうか。子供から親へ献血を勧めてくれることもある。
- ・市町村にも主体的に啓発してもらえるよう、市町村との連携強化や活動の支援を検討してはどうか。
- ・若年層に対しては、街頭でのティッシュ配布やポスターの掲示よりも、SNSを活用してPRするほうが効果的。

【県民評価者の意見】

- ・献血の呼びかけをしている方の年齢層が高い。若い人に声をかけられた方が、若年層は献血しやすい。
- ・学校に献血車が来れば、友達も誘ってたくさんの若者が献血してくれるのではないかな。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	18
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業の役割は終えて いるため廃止)	役割分担 見直し (県ではなく市町村で 実施)	抜本的改善 (例:グッズ配付をや め、別の方法に変更)	一部改善 (例:市町村との連携、 血液センターに対する 支援)	現行どおり ・拡充
	0	0	0	9	9 (現行5、拡充4)
県民 評価 者の 主な コメ ント	評価 結果 と 同 じ 評 価	【一部改善】 ・献血に来た方のきっかけや理由を調査し、より有効な普及啓発に活かせないか。 ・複数回献血した人へのグッズをもっと魅力的なものにする、または選択肢を増やすべき。 ・予算の使い方が毎年同じに見えるので、再考してほしい。 ・SNSやインフルエンサーを活用したPRを行う。			
		【現行どおり・拡充】 ・関心はあるが貧血気味で献血をしたことがない。食事指導のイベントとあわせて献血の呼びかけをすれば、健康増進にも献血の推進にもつながるのではないかな。 ・献血を受け入れる側の限界もあるので、現行どおりで良い。ただし、ボランティアの方々の負担は改善するべき。 ・「親子で献血キャンペーン」など、熱心に献血を続けてくれる方々が子世代へ活動を繋いでいく仕組みを増やす。 ・市町村別の若年層の献血率を公表して、市町村と一緒にPRしてはどうか。			

【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	0	1	3 (現行1、拡充2)